

見舞い表現の分析

——手紙文の場合——

広 滝 道 代*

1. はじめに

「手紙文を書く力がある」と言えば、「何か書くべき内容があるときに、それを言葉によって表現する力」が手紙文における文章表現力の基礎だ、と考えるのが一般的であろう。すなわち言葉を操作する力のことである。

では、どんな人が手紙文を書く力をもっているかと考えると、この表現力をもっている人である。ただし、その能力の内実は何かと考えると次のようなことが考えられる。何か書くべき内容があるとき、それを言葉によって表現する能力をもっていること。そのうえ、手紙として書くべき内容を生み出す能力をもっているということである。一般の文章と同じで、手紙文においても、すぐれた内容を、うまく表現に託して文章化することができる人が、手紙文を書く力がある人になっている。

文章は、書き手の自由な思考の流れにもとづいて書かれるとはいえ、他人に読んでもらうものであることを抜きにしては語れない。日記やメモを除くと、文章は他人に読んでもらうものである。殊に、手紙文は相手意識をはっきりもつ文種である。だから、書く意図に応じて、相手を理解させたり、納得させたり、心を動かしたりする効果を生じなければ、よい手紙文とはいえなくなる。手紙文の部分的な表現だけでは、理解させたり、納得させたり、心を動かしたりすることはできないものである。手紙文を統一する意図が備わっていなければならない。すなわち、相手に理解され、相手を動かしてこそ手紙文を書く意図が果たされるのである。

どんなことをどんな順序で述べるかという内容の組み立てが、表現が与える効果に大きく作用する。つまり、表現力を持っている人は、構成力を持っている人

でもあるといえる。

こう考えると、手紙文の文章表現力とは何かを問題にするには、文章の内容を生み出す能力、またどんな部分をどんな順序にならべて内容を構成するかという構成力、さらにはそれを具体的な中身に作り上げる表現力、この3つの力を総合的に把握しなければならないと考えてよいだろう。

2. 手紙文作成のための文法

さて、少しでもよい手紙文だといえるものを書こうとすれば、以上のような能力を身につけなければならないが、その能率的な書き方は、手紙文を書く表現行動から書くための知識をもつことである。手紙文を書く能力は、書き慣れることによって身につくが、どうすればよりよい手紙文を書くことができるかという知識をもつだけでも効果があるものである。

相手と自分との関係をおさえて、確かな意味を伝えることができ、しかもインスタント的に——というよりは、むしろ、あまり書くべき内容にあたる表現を考えていなくても手紙文を作成する方法に、パラグラフ・システムがある。¹⁾これは、文章作成の目的をあらかじめ決めておき、その文章を構成するのに必要なパラグラフを準備して、必要に応じてパラグラフを配列して文章を構成する方法である。

たとえば、「病気見舞いの手紙文」でパラグラフ・システムを示してみよう。

「病気見舞いのパラグラフ・システム」

1 前文

1—1 頭語

ア 拝啓

1—2 知った経緯

ア □□さんがご入院になりましたことを伺いました、思いもよらない出来事に家中で驚いております。

* 本学生生活学科助教授表現学（国語学）

イ □□さんからのお電話で、□□さんが入院なさったことを伺い、本当に驚いております。

ウ □□さんがご入院なさった由、□□さんから聞き、ただただ驚いています。

1-3 見舞いの言葉

ア 心からお見舞い申し上げます。

イ ご心配のかぎり、心からお見舞い申し上げます。

ウ 家族一同心からお見舞い申し上げます。

2 主文

2-1 思い

ア 日ごろお元気な□□さんですが、お仕事がおいそがしく不規則になられ、さぞお疲れだったのではないかと考えております。

イ いつも明るくお元気な□□さんが手術されるということは、いまだ信じがたい気持ちです。

ウ 以前、□□でお見かけしたご様子からは思いもありません。

2-2 祈り・願い

ア □□さんに病院暮らしはおつらいことと想像し、一日も早く回復されることを祈ってやみません。

イ 何かとご不自由なことでしょうが、ご治療につとめられますようお祈り申し上げます。

ウ 回復には日にちがずりが何よりのようですから、焦らないで大切になさってください。

エ それから□□さんのお疲れも大変なものと思いますが、□□さんにくれぐれもご無理なさいませぬようにとお伝え下さい。

2-3 訪問・見舞い品を送る

ア 早速お見舞いに伺いたいのですが、すぐにはできません。それで取り急ぎ、手紙で失礼いたします。そのうち、必ずお見舞いにまいります。

イ お見舞いのお伺いに替えまして、心ばかりの品をお送り申し上げましたので、お納めください。

ウ すぐにでもお見舞いに行きたいのですが、都合がつかいません。それで今回は、手紙でお許しください。都合がつき次第、改めてお見舞いにまいります。

3 末文

3-1 結びのあいさつ

ア 取り急ぎ、お見舞いまで。

イ まずは、失礼ながら手紙でお見舞いに替えさせていただきます。

ウ まずは、お見舞い申し上げます。

3-2 結語

ア 敬具

4 後付け

4-1 日付

ア □□□□年□□月□□日

4-2 差出人

ア □□□□

4-3 受取人

ア □□□□様

インスタントな方法で、手紙を書くときには、以上のなかから必要なものを選んで、□□に相手、又は相手側の名称を入れて組み合わせる。たとえば、

1 1-1ア, 1-2イ, 1-3ウ, 2 2-1ア, 2-2ア, エ, 2-3ア, 3 3-1ア, 3-2ア, 4 4-1ア, 4-2ア, 4-3アで組み合わせると、

拝啓

叔母さんからのお電話で、叔父さんが入院なさったことを伺い、本当に驚いております。

その後、ご容体はいかがでございましょうか。家族一同心からお見舞い申し上げます。

日ごろお元気な叔父さんですが、お仕事がおいそがしく不規則になられ、さぞお疲れだったのではないかと考えております。叔父さんに病院暮らしはおつらいことと想像し、一日も早く回復されることを祈ってやみません。

それから叔母さんのお疲れも大変なものと思いますが、叔母さんにくれぐれもご無理なさいませぬようにとお伝え下さい。

早速お見舞いに伺いたいのですが、すぐにはできません。それで取り急ぎ、手紙で失礼いたします。そのうち、必ずお見舞いにまいります。

取り急ぎ、お見舞いまで。

敬具

□□□□年□□月□□日

○○○○

□□□□様

という手紙文が出来上がる。後付けの部分に必要な文字を入れればよい。

このパラグラフ・システムのよい利用法は、まず、書き手の場合に近いパラグラフを選択することによって、一応形式の整った手紙文を作成してしまい、そのうえで、それにならって、書き手自身にあった手紙文

に書き換えることである。

だが、それでは、手紙文の文例を見て書くのと同じではないかと考えられるかもしれないが、書き手の状況と、かけはなれた文例は参考にならない。なるべく書き手に近い文例になるよう文章の部分を修正することができるようにしておきたい。

また、型はまりの内容になってしまうのではないか。相手と自分との関係を考えて適切で、心のこもった手紙になりにくい。こう考えるかもしれないが、何もないところから、よい手紙文を書くのは難しい。だから、書こうとする手紙文にできるだけ近い文例を、ときには何も修正個所のない文例を提供しようとするものである。

このような文章作成のための文法は次のようになる。上記の例文に即して示そう。

1 構成用語の集まり

文章、手紙文、前文、頭語、知った経緯、見舞いの言葉、主文、思い、祈り・願い、訪問・見舞いの品を送る、末文、結びのあいさつ、結語、後付け、日付、差出人、受取人

2 パラグラフの集まり

先に示した通り。

3 文章生成規則のきまり

既存の文章から択一に選択できるパラグラフまたは、フレーズの集合を作る。これをいくつか順序をもたせて一列に並べて、各パラグラフまたはフレーズ集合から一つずつ選択して作ったパラグラフ、またはフレーズの列が意味する文脈を作り出すようにする。²⁾

こうしたパラグラフまたは、フレーズ集合列を、手紙を書く目的、個人が出す手紙か事業所などの組織が出す手紙かといった書き手の別、形式的・儀礼的な手紙か、私的な気持ちを表す手紙かなどの条件別に作成しておく。

3. 表現分析の目的

「病気見舞いの手紙文」を例として示したような文章作成システムを作ると、書き手はパラグラフの集合列を読んで、自分の場合に適したパラグラフを選択してパラグラフ列を作る。そのパラグラフ列をつなぎ合わせるによって手紙文を作成する。³⁾

多くの文面が異なる手紙文を作成することが可能になったが、データが大きくなってしまふ。書き手の選択の幅がふえる反面、データの自由度がパラグラフの

選択に負担を与えることにもなりかねない。

また、データが文体としての特徴をもつとき、選択された文体が不調和になってはならない。これは手紙文全体が文体として統一されている、あるいは不自然でないものでなければならないということを意味している。

そこで、豊富なデータから、書き手が自分に適した文章にするためにパラグラフを取り替えたり、組み合わせたりしなければならぬとなると、一列に並んだパラグラフ集合から最適のパラグラフを一つずつ選ぶにあたって、次の項目を考慮しなければならないだろう。手紙作成の労力を減らすために必要な考察対象を、3点示してみる。

- ・表現に関するデータを小さくまとめる。
- ・どのパラグラフを選んでも前後のつながりが自然なようにデータを整理する。
- ・骨組みになる文章の構造体とシソーラスを組み合わせる。従来のシソーラスは語、語句のパラグラフ単位で類義語が用意されている。骨組みとシソーラスを活用すると、複数の文節単位の類義表現が作成できるようにする。

4. 表現分析の方法

小稿では、前稿⁴⁾ にならって手紙文における見舞い表現を類別し、意図に応じた基本構造を明らかにする。今回の調査に使用した文章は、電子出版物『スララ』搭載の見舞い表現全12文例である。⁵⁾

まず、見舞いのデータからパラグラフを骨組み化する方法を検討する。見舞いの手紙文の文章構造を骨組みで示したものが表1である。

見舞い表現は、相手が病気、怪我などの不幸に直面したり、震災、火災、風水害などの災難をうけたりしたときに、相手に経過や状況をたずねるとともに、その回復を祈る表現である。

表1の文例は、左側は商用事務的な取り引き先への手紙であり、右側は私的個人的な相手への手紙である。

見舞いの手紙文は、次の生成規則によって生み出される。

手紙文→見舞い (1)

見舞い→前置き・経緯・見舞い (2)

(1)は、見舞いの手紙文という文章は、見舞いという形をとることを意味する。(2)は見舞いの意図・筋道は

表1 見舞い表現の大きな骨組み

	組織的、一般的表現	個人的表現
前置き	お見舞いの手紙を差し上げます。	電話としましたが、手紙を書きます。
経緯	先日、貴社の大阪工場付近の出火で類焼されましたことを承り、	昨夜、君が入院しているということを山川さんから聞きました。まさかと思いましたが、事実だと知って改めて驚いた次第です。
見舞い	謹んでお見舞い申し上げます。ただご被害が物品のみで人身におよばなかったこと、不幸中の幸いと存じます。御地周辺が一刻も早く復旧されることを心からお祈り申し上げます。 お見舞いのお伺いに替えて、心ばかりの品をお送り申し上げますので、ご笑納下さい。	入院したからには、病院がちゃんとやってくれるでしょうから、安心して療養につとめられることを祈っています。それにしても、いつも元気な君が病気だということは、この手紙を書きながらも信じられないような気がします。一カ月前に新宿で会ったとき、カラオケで氣勢を挙げていた君の声が耳に残っていますからね。 すぐにもお見舞いに行きたいのですが、いまのところ行けそうにもありません。それで今回は手紙で失礼します。そのうち時間を作って必ずお見舞いにまいります。

「前置き」「経緯」「見舞い」を続けた形をしていることを示している。

5. 経緯の構造

「経緯」の構造は、どのような要素によって骨組み化されているであろうか。

「見舞い表現」の全例文から、(2)のなかの「経緯」の部分だけを抽出して、観察してみた結果、骨組み化に必要な要素を明らかにすることができた。

部分が互いにどのような関係を持ちあって文章を作り上げているか。文章の骨組みをとらえるために、3例の異なる状況における表現を分析したものを次に示す。

表2の文例は、左側は商用事務的な取り引き先への文例で、組織的一般的表現を用いたものである。中央は目上で疎遠な関係の相手に対する文例で、一般的固い表現を用いたものである。右側は個人的で親しい関係の相手に対する文例で、個人的柔らかい表現を用いたものである。

「経緯」の構造は次の5つの要素によってとらえることができる。

経緯→《時》、《対象》、《出来事》、《報告》、《気持ち》

《時》：いつ、不幸、災難を知ったか。

《対象》：だれが不幸、災難をうけたのか。

《出来事》：どのような不幸、災難か。

《報告》：だれから、どのような方法で知ったか。

《気持ち》：知った時の心配、驚きなど。使わなくてもよい。

このように、親疎の度合いや丁寧度にかかわらず、ほぼどの要素も欠かさず用いている。

なお、「経緯」の骨組みには基本の形と丁寧な形の2種類がある。次に掲げよう。

・短い文面の場合

時+対象+出来事+報告

表2 経緯の骨組み

経緯の要素	組織的一般的表現	一般的表現	個人的表現
時	先日、	本日	昨夜、
対象	貴社の大阪工場が	ご尊父様が	君が
出来事	付近の出火で類焼されましたことを	ご入院なされたとのことを、	入院しているということ、
報告	承り、	承りました。	山川さんから聞きました。
気持ち		私ども一同心からご案じ申し上げております。	まさかと思いましたが、事実だと知って改めて驚いた次第です。

ビジネス文書、個人的文書のいずれの場合にも適している。「経緯」は簡単に述べて、あとの「見舞い」そのものを第一にした表現といえる。

- ・長い文面の場合

時+対象+出来事+報告+気持ち

個人的な見舞いの場合に適しているが、組織からの一般的な見舞いにも使うことができる。気持ちを繰り返し述べることによって、相手への思いやりや心づかいを表現したい場合の経緯表現として効果的であるといえよう。

6. 述語の構造

「述語」の構造は、どのような要素によって骨組み化されているであろうか。

「見舞い表現」の全例文から、(2)のなかの「述語」の部分だけを抽出して、観察してみた結果、骨組み化に必要な要素を明らかにすることができた。

「述語」の構造は次の6つの要素によってとらえることができる。

述語→《接続》、《気持ち》、《前置き》、《安否》、《思い》、《対応》

《接続》：経緯とのつなぎ言葉。状況の既知、未知の両方選択不可。使わなくてもよい。

《気持ち》：相手の容体を気づかう気持ち。

《前置き》：「思い」を述べるための言葉。使わなくてもよい。

《安否》：相手の安否、容体を知りたく思っている表現。状況未知の場合に使う。

《思い》：見舞いの目的となる表現。

「ご同情いたします」などの「同情」

「不幸中の幸いと存じます」などの「慰め」

「いたたまれない気持ちです」など、知ってからの悲しい「気持ち」

「元気な姿が目にはやきついています」などの相手の

以前の「様子」

「心からお祈り申し上げます」などの「励まし、祈り」

複数の要素を用いることができる。

《対応》：取りあえず、「手紙を出す」「見舞い品を送る」「手伝いを申し出る」「後日、出向いて見舞う」など、すぐに、見舞いに出向く代わりの方法を伝える。

表3に「述語」表現の骨組みを構造化して示してみよう。

このように、「述語」表現の意味と意図からの分類によるものであるが、親疎の度合いや丁寧度にかかわらず、ほぼどの要素も欠かさず用いると考えられる。なお、「述語」の骨組みには、次の3種類の形がある。次に掲げてみよう。

- ・状況既知の場合の一般の見舞い

気持ち+前置き+思い（同情、慰め、気持ちの中から1つ）+思い（祈り）+行為

組織からの一般的な見舞いに適している。個人的な場合には、相手が目上であったり、社会的地位があったりする場合に使う。

- ・状況未知の場合の一般の見舞い

接続+気持ち+安否+思い（祈り）+行為

詳しいことがわからず、知ったときの心配をそのまま述べた短い文面に適している。

- ・状況既知の場合の個人的見舞い

接続+気持ち+前置き+思い（同情、慰め、気持ち、様子の中から1つ以上）+行為

見舞いの気持ちが強いときの個人的な場合に適している。「思い」の中の要素は組み合わせて用いる。「慰め」「気持ち」「様子」は実感のともなった表現が効果的である。従って、型はまりの表現ではなく、自分の場合に適した表現を必要としている。

表3 述語表現の骨組み

見舞い述語の要素	組織的一般的表現	一般的表現	個人的表現
接続	/		入院したからには、病院がちゃんとやってくれるでしょうから、
状況未知		まだ詳しいことがわからず、	

気持ち 祈り			安心して療養につとめられることを祈っています。
心配		皆様方のご心配のほどいかばかりかと存じます。	
見舞いの言葉	謹んでお見舞い申し上げます。		
前置き	ただ		それにしても
安否		ご尊父様のご経過はいかがでございますか。	
思い 同情			
慰め	ご被害が物品のみで人身におよばなかったこと、不幸中の幸いと存じます。		
気持ち			いつもの元気な君が病気だということは、この手紙を書きながらも信じきれないような気がします。
様子			一カ月前に新宿で会ったとき、カラオケで氣勢を挙げていた君の声が耳に残っていますからね。
励まし 祈り	御地周辺が一刻も早く復旧されることを心からお祈り申し上げます。	一日も早くお元気になられますよう心からお祈り申し上げます。	
対応 手紙			すぐにでもお見舞いに行きたいのですが、いまのところ行けそうにもありません。それで今回は手紙で失礼します。
品物	お見舞いのお伺いに替えて、心ばかりの品をお送り申し上げましたので、ご笑納下さい。		
手伝い 訪問		ご都合をお伺いした上で、拝顔申し上げたく存じます。	

7. おわりに

まだまだ考察されるべきことはたくさんあるが、上述のことは、まず構造的な要因が手紙文の表現の意味内容を決定するのに役立っていることを示している。このことから、表現に関するデータを要素別に小さくまとめることが可能になり、骨組みになる文章の構造体とシソーラスを組み合わせることが有効になったといえよう。

以上、手紙文における見舞い表現の構造の概略を述べてみたが、今回の調査に使用したサンプル数が少ないため、根拠が不十分であることは否めない。また、形式的儀礼的な手紙文例の偏りが、固定的な表現構造の成立基盤となるようにも考えられる。今後、手紙文の対象となることからの違い、言語化される表現の優先順位の側面も十分に例示することが必要であろう。

相手との人間関係を円滑にするコミュニケーション上の目的をもつ手紙文の表現構造として、目的に応じた骨組みも、意味内容、待遇関係、長さなどの要因によって複数用意しなければならないとも考えられようである。

注

1) 文章の構造・生成を考えるためには、文章の構造は意図の構造、意味の構造、文脈の切れ続きの構造の三つの層が重なってできているものとみる考え方を活用した。この考え方は、次の書物に詳しい。樺島忠夫著、『日本語のスタイルブック』、大修館書店、1979年。

2) この開発から、手紙文原稿の作成支援、諸種文章のアウトラインと書き方の提供を行うソフトが市販されているワープロに搭載されるようになった。

3) このための書物としては樺島忠夫編、『文章表現事典』、(発行はミツムラ情報サービス、発売は東京書藝館)1987年がある。樺島忠夫が編集し、筆者を含めて6名が執筆にあたった。

この書物を利用するには、書物から作成したパラグラフ列を手書きしたり、ワープロに入力したりして手紙文を作成する。この労力を省くために、書物のデータを改良したパラグラフ・システムを、ワープロに搭載した。松下電器産業株式会社ワープロ『スララ』搭載の文章作成ソフト樺島

忠夫監修、『文章名人』1991年を参照のこと。

4) 拙論(「依頼表現の分析——手紙文の場合——」平安女学院短期大学「紀要」第29号 pp. 82～91, 1998年)において、筆者は依頼の手紙文を抽出して、依頼表現の基本的構造について考察し、意図に応じた骨組みを明らかにした。

5) 前掲3)の『スララ』「文章指南名人」1994年版から全見舞い表現例を抽出した。

6) 調査対象の手紙文から、「経緯」と「述語」のサンプルデータを採取した。その結果、全用例データがおおよそ265パラグラフ例を数えた。本稿ではそれらの例を十分にいかした検討ができていないので、複数の頻度をもつパラグラフデータを抽出した次の表「一覧表 今回の調査に使用した「経緯」「述語」表現のデータ」を、最後に掲示しておきたい。

一覧表 今回の調査に使用した「経緯」「述語」表現のデータ

(→は意味の連続関係を意味する。)

〈経緯のサンプルフレーズ〉

1. 時

／] 先日、] 過日、] 去る□月□日に] 昨日] 昨晚] 本日] 只今] 今朝ほど] /

2. 対象

2. 1. 当事者

／] ご尊父様が] ご令息様が] お嬢様が] ご祖父様が] ご祖母様が] □□【個人名・役職名】様が] ご健勝とばかり存じておりましたあなた様が] あなた様が] ご主人様が] 奥様が] 先生が] □□【個人名】様が] 君が] あなたが] □□【相手の氏名】さんが] □□【相手の愛称】が] /

→次は3. 1.

2. 2. 物

／] あなた様の] ご主人様の] ご尊父様の] ご令息様の] お嬢様の] ご祖父様の] ご祖母様の] □□【個人・役職名】様の] /

／] ご自宅が] ご実家が] □□工場が] □□支店が] □□店舗が] 校舎が] 建物が] 近辺が] ご自宅近辺が] ご実家近くが] 付近が] □□【被災地名】地方が] □□【被災地名】市周辺が] /

→次は3. 2.

3. 出来事

3. 1. 人

／] ご病気とのことを] お怪我をなさったとのことを] 怪我をなさったとのことを] ご入院なされたとのことを] ご入院なさった由、] ご療養中とのことを] 手術をお受けになったとのことを] お患いになられたとのことを] 輪禍に遭われたとのことを、] 交通事故にお遭いになられたとのことを、] 予期せぬ事態にご遭遇なされたとのことを、] ／

／] &] ／

→次は4. へ

3. 2. 物

／] 火災にお遭いになられたとのことを] □□【該当場所名】の出火で類焼されましたことを] 大火で被災なされたとのことを] 類焼に遭われたとのことを] 被災なされたとのことを] 焼失なされたとのことを] 震災に襲われ被害を受けられたことを] 大きな地震に襲われ被害を受けられたことを] 近年にない集中豪雨に見舞われ被害を受けられたとのことを] 大雨に襲われ被害を受けられたことを] 前線の影響で豪雨に襲われ被害を受けられたことを] ／

→次は4. へ

4. 報告

／] □□様から] 奥様から] ご主人様から] ご令息様から] 知人を通じて、] お手紙で、] 御状で、] 貴社□□□様を通じて、] □□【聞いた人の氏名、君・さんなどの敬称】から] □□【聞いた人のニックネーム】から] 新聞紙上で、] ニュースで] テレビのニュースで、] お電話で] ／

／] 承りました。] 伝え聞きました。] 伺いました。] 聞きました。] 承り、] 伝え聞き、] 伺い、] 聞き知り、] 知らされ、] 知り、] ／

→次は5. 1., 5. 2., 終了

5. 気持ち

5. 1. 心配

／] 私ども一同] 私ども] 家族一同、] 小生、] 当方、] 当社、] 小社社員一同] 小店一同] ／

／] 心からご案じ申し上げております。] 心から心配いたしております。] 懸念いたしております。] 詳しいことがわかりませず、案じております。] 心配いたしておりました。] 心配でたまりません。] ／

／] &] ／

5. 2. 驚き

／] 私ども一同] 私ども] 家族一同、] 小生、] 当方、] 当社、] 小社社員一同] 小店一同] 家中] ／

／] ただただ驚くばかりでございます。] 驚きのほかございません。] ただ驚くのみでございます。] あまり突然のことで、ほんとうに驚いた次第です。] 思いもかけぬニュースでほんとうにびっくりしました。] 思いもよらぬ出来事にただただ驚いています。] あなたが交通事故で入院されたということで、ほんとに驚きました。] 君が交通事故で入院されたということで、まさかと、声も出ないほどでした。] ／

／] &] ／

〈見舞い述語のサンプルフレーズ〉

1. 接続

1. 1. 状況既知

／] 入院したからには、病院がちゃんとやってくれるでしょうから、] 入院なさったからには、養生第一にして、] ／

→次は2. 1.

1. 2. 状況未知

／] まだ詳しいことがわからず、] 詳しいことがわからず、] ／

→次は2. 2.

2. 気持ち

2. 1. 祈り

／] 安心して療養につとめられることを] 順調に回復されることを] 治療につとめられることを] 一日も早く回復されることを] ／

／] 祈っています。] お祈りしています。] 願っています。] ／

→次は3.

2. 2. 心配

／] 皆様方のご心配のほどいかばかりかと] 貴社ならびにご家族の皆様のご心配如何ばかりかと] 被害はどれほどかと] お怪我を召されなかったかと] お怪我の程度はいかばかりかと] 何よりも身の安全はいかがかと] ご無事でいらっしゃるか] 被害のほどを] ご家族の皆様が被害が及んではまいかと] 貴社に被害が及んではまいかと] 貴社施設建物が被害をお受けに

なられてはいまいかと] ご家族の皆様被害がありはしなかったかと,] ご自宅などの建物に被害がありはしなかったかと,] あなた様が無事でいらっしゃるかと] /

[/] 心からご案じ申し上げております。] 心から心配いたしております。] まことに心配のかぎりでございます。] ご案じ申し上げております。] 心配いたしております。] 気をもんでおります。] /

→次は2. 3., 3.

2. 3. 見舞いの言葉

[/] 謹んでお見舞い申し上げます。] 心からお見舞い申し上げます。] 心からの見舞いを申し上げます。] /
→次は3.

3. 前置き

[/] 治療ご専一になさっていらっしゃるかと存じますが,] 手術などもなさったとお聞きしましたが,] 事情を伺いまして,] そちらの事情を伺いまして,] 被害をお受けになったこと,] 損害のほどを知りまして,] 被害をお受けになったことを伺いまして,] 損害のほどを知りまして,] 人づてに, 伺いまして,] 事情を伺いまして,] 承りますと,] お手紙によりますと] □□【人名】からの知らせによりますと] それにしても,] それも] ただ] /

→次は4., 5. 1., 5. 2., 5. 5.

4. 安否

[/] ご経過はいかがでございますか。] ご容体はいかがでございますか。] その後のご様子はいかがでしょう。] □□様のご経過はいかがでございますか。] □□様のその後のご様子はいかがでしょう。] /

→次は5. 5.

5. 思い

5. 1. 同情

[/] 本当にお気の毒なことで心からお見舞い申し上げます。] まことに残念で心からご同情いたします。] まことに残念でご同情に堪えません。] 本当にお気の毒なことと心からお見舞い申し上げます。その間どんなにかご心配になられたことでしょうか。] /

→次は5. 2

5. 2. 慰め

[/] 皆様が無事でお怪我一つなさらなかったことは,

何よりでございます。] ご被害がそれほど大したものではなかったことは, 何よりでございます。] ご損害が一部分のみにとどまったことは, 不幸中の幸いと存じます。] 他への類焼をまぬがれたことは, 不幸中の幸いと存じます。] ご被害がなければ喜ばしいことと存じております。] 被害が軽少であることに, ほっと安心いたしました。] ご被害がそれほど大したものではなかったことに, 胸をなでおろしました。] 近隣で火の手がくいとめられたとか, また, 皆様が無事でお怪我一つなさらなかったとのことで, 本当によろしゅうございました。] 避難だけでお済みになられたとのこと, また, 皆様が無事でお怪我一つなさらなかったとのこと, 胸をなでおろしました。] /

→次は5. 5.

5. 3. 気持ち

[/] 交通戦争ということはよく言われていますが, 身近にこんなことがあると, 改めて義憤を感じます。] 交通事故の恐ろしさをいまさらながら身にしみて感じています。] いつも慎重に行動しているあなたにこんなことが起こるなんて, いたたまれない気持ちです。] 身近にこんなことがあるとは, 義憤を感じます。] いつも慎重に行動しているあなたにこんなことが起こるなんて, いたたまれない気持ちです。] よりにもよって, こんな不運が善良なあなたにふりかかるなんて, まったくいたたまれない気持ちです。] 人一倍タフな□□【相手の氏名, 敬称付き】が手術されるということは, 神様もイジワルな気がします。] □□【入院前の相手の元気な様子】のあなたが病気だということは, この手紙を書きながらも信じきれないような気がします。] 病院暮らしはさぞかし不自由なことだろうと想像し,] お仕事のこと家族のことなどいろいろと気にかかることもあるだろうと想像し,] 人一倍健康体であったあなたに病院暮らしはほんとに苦痛なことと思ひ] ただでさえ暑い折柄, 病院暮らしはほんとに苦痛だろうと想像し,] さぞかしつらいお気持ちのことと想像し,] 厳しいリハビリに頑張っていることと思ひ] /

→次は5. 4., 5. 5.

5. 4. 様子

[/] 一カ月前に新宿で会ったとき, カラオケで氣勢を挙げていた君の声が耳に残っていますからね。] □□【相手と出会った時】前に□□【相手と出会った場所】で一緒に□□【相手と一緒にした行動】したとき, 浜辺で

まっ黒に日焼けした腕を自慢していた君の姿が記憶の中で鮮明です。] ついこの間、社内の会議でお見かけした元気なお姿が目にはきついていますからね。] ついこの間、バイタリティあふれる顔を拝見したばかりですものね。] /

→次は5. 5., 6. 1., 6. 2.

5. 5. 励まし、祈り

/] この上は、一日も早くご回復なさいますよう] 一日も早くお元気になられますよう] ご養生に努められ、早く皆様のご看護により、お元気になられますよう] ご治療中は何かご不自由なことでございましょうが、ご養生に専念なさいますして一日も早くご回復なさいますよう] 病院暮らしは様々ご不便もありませんが、ご治療に努められ、ご退院の日をお迎えになりますよう] あわてて家庭医学の本を読んだのですが、安静と頸椎の固定が大切だと書いてありました。むちうち損傷の約70%は受傷後三カ月以内に治りますとも書いてありました。ぜひその70%のうちに入ってくれるようにと、] 残念ながら不自由な状態がありましたなら、早く平常に復されますよう] 一日も早く回復し落ち着かれますよう早く平常に復されますよう] 一刻も早い復旧を] 一日も早く回復し落ち着かれますよう] 早く平常に復されますよう] /

/] お祈り申し上げます。] 心からお祈り申し上げます。] お祈りいたしております。] お祈りいたします。] 心からお祈りいたします。] 祈ってやみません。] /

→次は6. 1., 6. 2., 6. 3., 6. 4.

6. 対応

6. 1. 手紙

/] すぐにでもお見舞いに行きたいのですが、いまのところ行けそうにありません。] 早速、お見舞いに行

こうと思うのですが、このところ、毎日残業で、病院の面会時間までにどうしても間に合いません。] /

/] それで今回は手紙で失礼します。] とりあえず手紙でお見舞い申し上げますが、] 取り急ぎ手紙でお見舞い申し上げますが、] /

6. 2. 見舞いの品

/] お見舞いのお伺いに替えまして、] お見舞いのしるしまでに、] お見舞いのしるしといたしまして、] /

/] 心ばかりの品を同封いたしましたので] 心ばかりの品をお送り申し上げましたので] ささやかな品をお送りいたしましたので、どうか] /

6. 3. 手伝い

/] もし万一、私共にお手伝い出来ることになりましたら、何なりとお申しつけ下さい。] 万一、ご不足の品がございましたら、ご遠慮なくお申し出下さい。] 私共で何かお役に立つことがございましたら、何にてもご連絡下さい。] お手空きの折りに、当方へもご様子をご一報いただけたらと存じます。] ご様子をお知らせいただきますようお願い申し上げます。] /

6. 4. 訪問

/] 近日中に、ご都合をお聞きして、お見舞いに参上いたしたく存じます。] 後日、ご連絡の上、改めてお見舞いに伺う予定をいたしております。] ご都合をお伺いした上で、拝顔申し上げたく存じます。] /